

令和2年7月9日

学生各位

宮崎看護専門学校

新型コロナウイルス感染症対策について

標記の件について、6月1日に別紙のとおり通知しているところではありますが、新規感染者が増加しておりますので、下記のとおり追加で通知します。

つきましては、再度感染拡大防止に注意するようお願いいたします。

①感染流行地域との往来について

感染流行地域との往来については、その必要性を十分に判断の上、慎重な行動をお願いします。

感染流行地域（7月9日時点）：鹿児島県、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県

②繁華街などでの飲食店の利用については控えてください。

県や市などの行政は地域経済の再始動、活性化に向けて取り組みを行っていますが、本校は看護師養成所であり、感染が発生した場合には実習に多大な影響を与えること、一般校と比べ周囲から厳しい批判に合う可能性があること、勤務学生から医療機関へと感染拡大する可能性があることなどから、飲み会などは控えてください。

③本人、同居者に発熱、咳などの風邪症状がある場合には教務に電話連絡し、指示を仰ぐこと。本人、同居者がやむを得ず感染流行地域へ往来する場合には、事前に教務に相談すること。

④厚生労働省の新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）をインストールしておいてください。

Bluetoothによりスマホ同士が近くにあったことを識別します。

GPSは利用しませんので、行動記録はされません。

別紙

令和2年6月1日

学生各位

宮崎看護専門学校

新型コロナウイルス感染症対策について

標記の件について、緊急事態宣言が解除されましたが、いまだ新規感染者は発生していますので、下記の事項に注意し、感染しない・させないようにすること。

①国内移動する際は、各自治体から発信されている情報に注意し、感染流行地域への往来については出来る限り控える。

国内移動する際は必ず事前に教務へ相談すること。

②感染対策として、アルコール消毒液による手洗や、マスクの適正使用など、引き続き適切に感染防止対策を行う。

③海外渡航については引き続き自粛すること。

④新しい生活様式の実践に取り組むこと。

次ページを参照、または厚生労働省ホームページを参照し、出来る限りの行動変容をすること。

厚生労働省ホームページ：

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_newlifestyle.html

「新しい生活様式」の実践例

(1) 一人ひとりの基本的感染対策

感染防止の3つの基本：①身体的距離の確保、②マスクの着用、③手洗い

- 人との間隔は、できるだけ2m（最低1m）空ける。
- 遊びに行くなら屋内より屋外を選ぶ。
- 会話をする際は、可能な限り真正面を避ける。
- 外出時、屋内にいるときや会話をするときは、症状がなくてもマスクを着用
- 家に帰ったらまず手や顔を洗う。できるだけすぐに着替える、シャワーを浴びる。
- 手洗いは30秒程度かけて水と石けんで丁寧に洗う（手指消毒薬の使用も可）

※ 高齢者や持病のあるような重症化リスクの高い人と会う際には、体調管理をより厳重にする。

移動に関する感染対策

- 感染が流行している地域からの移動、感染が流行している地域への移動は控える。
- 帰省や旅行はひかえめに。出張はやむを得ない場合に。
- 発症したときのため、誰とどこで会ったかをメモにする。
- 地域の感染状況に注意する。

(2) 日常生活を営む上での基本的生活様式

- まめに手洗い・手指消毒 咳エチケットの徹底 こまめに換気
- 身体的距離の確保 「3密」の回避（密集、密接、密閉）
- 毎朝で体温測定、健康チェック。発熱又は風邪の症状がある場合はムリせず自宅で療養



(3) 日常生活の各場面別の生活様式

買い物

- 通販も利用
- 1人または少人数ですいた時間に
- 電子決済の利用
- 計画をたてて素早く済ます
- サンプルなど展示品への接触は控えめに
- レジに並ぶときは、前後にスペース

娯楽、スポーツ等

- 公園はすいた時間、場所を選ぶ
- 筋トレやヨガは自宅で動画を活用
- ジョギングは少人数で
- すれ違うときは距離をとるマナー
- 予約制を利用してゆったりと
- 狭い部屋での長居は無用
- 歌や応援は、十分な距離かオンライン

公共交通機関の利用

- 会話は控えめに
- 混んでいる時間帯は避けて
- 徒歩や自転車利用も併用する

食事

- 持ち帰りや出前、デリバリーも
- 屋外空間で気持ちよく
- 大皿は避けて、料理は個々に
- 対面ではなく横並びで座ろう
- 料理に集中、おしゃべりは控えめに
- お酌、グラスやお猪口の回し飲みは避けて

冠婚葬祭などの親族行事

- 多人数での会食は避けて
- 発熱や風邪の症状がある場合は参加しない

(4) 働き方の新しいスタイル

- テレワークやローテーション勤務 時差通勤でゆったりと オフィスはひろびろと
- 会議はオンライン 名刺交換はオンライン 対面での打合せは換気とマスク

※ 業種ごとの感染拡大予防ガイドラインは、関係団体が別途作成